



もろすみともなり 両角友成県議会報告

本会議では一般質問に立ちました

F・POWERプロジェクトについて

8月9日「F・POWER」の中核を担う征矢野建材が松本地裁に民事再生法の適用を申請。債務総額65億円。私たちは、「F・POWER」の木質バイオマス発電規模は、適正か、県内に分散すべきではないかと、方向性を示しながら質問を重ねてきました。しかし、県は総じて大丈夫と答弁してきました。25億の補助金を出し、燃料材の調整役、事業者に対して指導・支援をしてきた事を踏まえ

ると県の責任は相当重いと指摘し、なぜここにいったかを質しました。松本市内のある工務店は、「征矢野建材とは付き合いが長く、建材が入らなくなると



お手上げになる」との訴えも。本プロジェクトが継続されるのかと心配の声が上がっているが、今後の見通しもありました。知事に質問

を受け止める。補助金執行者として、引き続きその役割を果たす。林業木材産業の活性化と言う所期の目的達成に向けて適切な支援等に努めていく」とのことでした。

私は、「何が問題だったのか、責任の所在等、納得できる答弁ではない。県として事業規模の適正化も含めて責任ある対応を」と求めました。

現行保険証の存続について

現行の健康保険証の存続については、国は来年秋に現行保険証廃止の方針ですが、マイナ保険証は、トラブル続出の現実があります。「国民と医療現場の声に従って健康保険証を継続させるべき。県はトラブル

をきちんと把握しているのか、来年秋を考えれば、医療機関が混乱するのではと心配だ」と質問しました。

また、マイナ保険証を取得しない方にプッシュ型の「資格確認書」を新たに発行するくらいなら、自治体職員の負担軽減からも、現行の保険証を残すよう国に求めてほしいとせまりました。

答弁では、「懸念の声があることは承知している。丁寧な説明と確実な制度設計、円滑な運用がされるよう国に要望する。デジタル社会を進めるのは重要と考

える」との事でした。全国保険医団体連合会によると、この間5493の医療機関で、トラブルが発生し、患者さんに対し10割を請求した例が1291件あると推計され、現行保健証廃止を強行すれば、トラブルは108万件以上になると予想されるとの事。この数字を基に、やはり現行保険証は残すべきと、結びました。



南信教育事務所で意見交換（8月3日）



ちくま環境エネルギーセンターを視察（9月11日）



佐久市八風太陽光発電所を視察（9月12日）

環境文教委員会報告

・特別支援学校の施設整備事業について、要望していた、松本養護・若槻養護学校の、改修に向けた、測量・地盤調査・基本設計で事業費11865万円が9月補正で「予算化」されました。現場からは、県内ほとんどの特別支援

学校の校舎が古い、教室が足りない、寄宿舎の老朽化、体育館や音楽室の広さ、クール

ダウンの部屋や更衣室の不足など訴えがあり、他校に対しても引き続きの取り組みが急がれています。

・高校再編は、急速な時代の変化への対応や、将来を見据えた再編計画が重要との指摘がされました。

・教員の処遇改善や確保に向けては、教員の働き方改革を進め、他県と比べ低く抑えられている、へき地手当の見直しに対しても意見が出されました。



委員長

ご意見・ご要望をお寄せください。

日本共産党県議会報告

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

No 2 2023年11月 【2023年9月定例議会報告】

